Terraformを使用したGCPでのUmbrella仮想アプ ライアンスの導入

内容

概要
 前提条件
 要件
 使用するコンポーネント
 設定
 ステップ1:GCPでのCisco Umbrella仮想アプライアンステンプレートの作成
 ステップ2: variables.tfファイルの変数を更新します
 手順3:GCPネットワークを定義します。
 ステップ4:Umbrella VAテンプレートの取得
 ステップ5:Umbrella VAテンプレートからインスタンスAを作成し、ネットワークに接続する
 ステップ6:Umbrella VAテンプレートからインスタンスBを作成し、ネットワークに接続
 確認

概要

このドキュメントでは、Cisco Umbrella仮想アプライアンスをTerraformを使用したGCPで展開す る方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Umbrella 仮想アプライアンス
- Google Cloud Platform(GCP)
- テラホルム

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるもの ではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています 。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してく ださい。

設定

Terraformを使用してGCPにCisco Umbrella仮想アプライアンス(VA)を導入する手順を次に示します。

ステップ1:GCPでのCisco Umbrella仮想アプライアンステンプレートの作成

リソースを適用する前に、GCPでUmbrella仮想アプライアンステンプレートを作成する必要があ ります。Umbrella仮想アプライアンステンプレートを作成するには、「<u>Google Cloud Platformで</u> <u>のVAの導入</u>」を参照してください。

次に、環境変数がvariables.tfファイルで定義されていることを確認します。

ステップ2: variables.tfファイルの変数を更新します

変数の更新 variable.tf DSN エントリの例:

variable "gcp-project-name" { description = "Name of the GCP Project" default = "my-project" }
variable "gcp-region" { description = "GCP Region" default = "us-east4" } variable "gcp-zone" {
description = "GCP Zone" default = "us-east4-a" }

手順3:GCPネットワークを定義します。

Umbrella VAインスタンスを接続するGCPネットワークを定義します。

Create Network resource "google_compute_network" "vpc_network" { name = "gcp-network" auto_create_subnetworks = "true" }

ステップ4: Umbrella VAテンプレートの取得

ステップ1で作成したUmbrella VAテンプレートを取得します。

data "google_compute_instance_template" "umb_va_temp" { project = var.gcp-project-name name =
"umbrella-va-instance-template" }

ステップ5:Umbrella VAテンプレートからインスタンスAを作成し、ネットワークに 接続する

ネットワークに接続されているUmbrella VAテンプレートから「Instance A」という名前のインス タンスを作成します。

resource "google_compute_instance_from_template" "umb_va_a" { name = "umb-va-a" zone = var.gcpzone source_instance_template = data.google_compute_instance_template.umb_va_temp.id network_interface { # A default network is created for all GCP projects network = google_compute_network.vpc_network.self_link access_config { } } }

ステップ 6:Umbrella VAテンプレートからインスタンスBを作成し、ネットワーク に接続

ネットワークに接続されているUmbrella VAテンプレートから「Instance B」という名前のインス タンスを作成します。 resource "google_compute_instance_from_template" "umb_va_b" { name = "umb-va-b" zone = var.gcpzone source_instance_template = data.google_compute_instance_template.umb_va_temp.id network_interface { # A default network is created for all GCP projects network = google_compute_network.vpc_network.self_link access_config { } } }

確認

Umbrella仮想アプライアンスがUmbrellaポータルの[**Deployments**] > [**Configurations**] > [**Sites and Active Directory]で検出されることを確認します。**ディスカバリには約10 ~ 15分かかります。 Cisco Umbrellaポータルで検出された仮想アプライアンスの例を次に示します。

altalta cisco.	Deployments / Configuration Sites and Activ	e Directory o				Settings Add	Download
Sites and Active Directory provides you with the means to integrate and deploy virtual appliances and Active Directory (AD). Active Directory (AD) integration supplements Umbrella virtual appliances (VAs) and roc clients by providing AD user, group, or computer name information for each applicable DNS request							
T FILTE	RS			Q 10.150			
Name N	7	Internal IP	Site	Туре	Status	Version	
umb-va	a-1	10.150.0.2	MPS Lab	Virtual Appliance	Imported: 5 hours ago	A 3.3.1	
10.150	.0.3	10.150.0.3	MPS Lab	Virtual Appliance	Imported: an hour ago	3.3.1	
10.150	.0.4	10.150.0.4	MPS Lab	Virtual Appliance	Imported: 44 minutes ago	3.3.1	

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。